

2・ 死んだおばさん

豊丘村豊丘中学校三年 一・〇

細い針金のような灰色の髪の毛
苦勞のしわと
笑つてできたしわが 入りまじった顔
腰がまがつて ひどく大きく見える尻
私の頭の中に おばさんの写真がある
おばさんの働いている姿の写真がある
おばさんはいつも働いていた
腰をのぼすのを 忘れたように：：：
おばあさんと呼ばれる身になりながら
じぶんの力に 力を加えて働いていた
あたりまえの しんせつを
涙を流して喜んでいた

「前の O さんと同じ死にかただ」
おとなの人は言った
そのことばには
じぶんで死の中にとびこんだ
という皮肉がふくまれている
おばさんの生活の中から
家があぶなくなつた時の
おばさんの気持がわかる
おばさんは きつと
「他の人でなく
私が死んで良かった」
と、言っているかもしれないのだ

(三十六年)